

学生対象 現場見学会実施報告

〈阪神高速道路(株) 大和川線シールドトンネル工事及び常磐工区開削トンネル工事〉

開催日時	平成29年 7月12日(水) 10:00~15:00
参加校	神戸市立科学技術高等学校
参加者	都市工学科 1年生
参加人数	男子69名, 女子11名, 教員4名
天気	晴れ
同行者	八木委員, 北村

以下のとおり2班に分かれて、2現場を見学。

	1班(同行:八木委員)	2班(同行:北村)
10:00~12:00	大和川シールド	常磐工区
13:00~15:00	常磐工区	大和川シールド

1. 常磐工区開削トンネル工事 概要説明ほか

阪神高速大和川線の事業内容説明及び当現場の工事概要説明, 施工手順等の説明が行われた。当工事は、一部工事区間が一般的な円形シールドではなく、珍しい矩形シールドであったので、シールドマシンの構造や、矩形シールドで掘ることのメリットなどの説明があった。



2. 現場見学



土留壁, 中間杭, 切梁等の説明



ランプ部の説明



大和川シールド（円形シールド）との境界



3. 事務所に帰り、建設業に興味を持ってもらいたいということで、いつもの見学会とは少し違った視点（建設会社はどんなことをしているのか）で話していただいた。

- 若手社員（現場監督）の1日
- 土木学会写真コンテストの最優秀賞等の紹介
- スーパーマイスター制度について



若手社員の1日の業務について



最優秀賞（タイトル：巨大ピンを挿入）



御影工業高校出身の作業員の方々



集合写真

4. 質疑応答では、積極的な発言が多くあった。

5. まとめ

今回の見学では、若い人たちに建設業の担い手になってもらいたいという希望を込め、工事概要や施工手順の説明だけでなく、若手社員の1日の業務や、写真を通して現場で働く作業員の方々の姿、待遇改善につながるマイスター制度等の取り組みなどについてもお話いただいたので、生徒たちも建設業について少しイメージすることが出来たのではないかと思います。

昼食後、大和川シールド現場に移動

6. 大和川線シールドトンネル工事 概要説明

阪神高速大和川線の事業内容説明及び当現場の工事概要説明のあと、シールド工法についてや、トンネルの種類や用途、様々な形のシールドマシンについて、わかりやすく説明していただいた。また開発した技術について、人型ロボット（NAO）が説明してくれた。



人型ロボットが開発技術の説明

7. 現場見学



実寸大シールドマシンのパネル前で



シールドトンネル



避難通路に降りるすべり台



解体中のシールドマシン

8. 事務所に帰り、入社2年目の若手社員の話聞いた後、質疑応答



9. まとめ

今回の見学会では、女子生徒が11名参加ということもあったので、現場にお願いして入社2年目の女性の技術系社員の方に仕事のやりがいなどについて、直接話をさせていただいたが、女性だからどうということではなく、一技術者として、日々どのように考え、仕事に取り組んでいるかという話を聞くことができ、男女関係なく、生徒たちも興味深かったのではないかと思う。

(文責：北村)